

# 令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

## 第一部門 法然文献班 元亨版『和語燈録』本文・現代語訳対照本作成

班長 角野玄樹

### 研究組織および専門分野

本庄 良文	研究員（浄土学・仏教学）
伊藤 真宏	研究員（浄土学・日本仏教文化史）
市川 定敬	研究員（法然浄土仏教思想研究）
角野 玄樹	嘱託研究員（法然文献研究・法然思想研究）
齋藤 蒙光	嘱託研究員（法然浄土教）
下端 啓介	学術研究員（法然及び源信の思想）

### 2019年度の研究

本紀要創刊号所載の活動報告において示したように、当班は、元亨版『和語燈録』の本文・現代語訳註本を完成させる目的で研究活動を行っている。また、当班は、故岸一英教授の追悼出版を後方支援するためのものであり、その基となるものが、佛教大学四条センターで行われた『和語燈録』の連続講義の担当者（岸一英氏、藤堂俊英氏、眞柄和人氏、本庄良文氏、安達俊英氏、善裕昭氏、伊藤真宏氏、角野）が作成した現代語訳や資料である。

昨年度から引き続き、上記『和語燈録』連続講義の担当者の善裕昭氏作成の現代語訳を検討している。更に、その現代語訳検討のあと、本文訳註対照表の作成を行っている。

なお、本年度から、佛教大学教授の本庄良文氏と、佛教大学大学院博士課程の下端啓介氏が、当班の班員として加わり、研究会などにご参加いただいている。（ただし、本庄氏は、当班立ち上げ当初から、当班の研究会などにご参加の上、ご指導くださっている。）

### 研究会の開催（2019年1月～12月）

日 時	平成31年1月9日（水）10：45～12：05
場 所	8号館伊藤真宏研究室
参加者	班員4名

内 容 善氏担当訳の検討（「一百四十五箇条問答（その十）」の「一、破戒の僧、愚痴の僧」から末尾まで、及び「諸人伝説の詞（その二）」の冒頭から「またくかわりめなしと。物語集にいでたり」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 平成31年4月24日（水）10：45～12：05

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員4名

内 容 善氏担当訳の検討（「諸人伝説の詞（その二）」の「ある時間ていわく、上人の御念仏は智者にてましませば」から「南無阿弥陀仏と申てぞかなはんずると。同集」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年5月20日（月）10：45～12：00

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 善氏担当訳の検討（「諸人伝説の詞（その二）」の「又上人のの給はく、源空が目には」から「ふかくたましみにそみ、心にとどめたる也。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年6月3日（月）10：45～12：10

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 善氏担当訳の検討（「諸人伝説の詞（その二）」の「そののち恵心の先徳の往生要集の文をひらくに」から末尾まで、及び「津戸三郎へつかはす御返事 第1通」の冒頭から「聖の申候し様は、」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年6月10日（月）10：45～12：00

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 嘱託研究員1名、班員3名

内 容 善氏担当訳の検討（「津戸三郎へつかはす御返事 第1通」の「おほかた生死をはなるるみち」から「つかまつり候也と申させ給ふべし。」まで。）

令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

日 時 令和元年7月1日（月）10：45～12：20  
場 所 8号館伊藤真宏研究室  
参加者 班員5名  
内 容 善氏担当訳の検討（「津戸三郎へつかはす御返事 第1通」の「いかにいはんや又最下のものの」から「はからはせ給ひ候はめ。」まで。）

日 時 令和元年7月16日（火）14：30～16：00  
場 所 8号館伊藤真宏研究室  
参加者 班員5名  
内 容 善氏担当訳の検討（「津戸三郎へつかはす御返事 第1通」の「又念仏申すべからずとおほせられ候とも」から末尾まで。）

日 時 令和元年7月23日（火）14：30～15：55  
場 所 8号館伊藤真宏研究室  
参加者 班員4名  
内 容 善氏担当訳の検討（「東大寺十問答」の冒頭から「一向に信ずる物には自然に具する也。」まで。）

日 時 令和元年10月1日（火）14：30～16：00  
場 所 8号館伊藤真宏研究室  
参加者 班員4名  
内 容 善氏担当訳の検討（「東大寺十問答」の「四、問、念佛はかならず念珠を」から「わびてがてらの事也。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年10月30日（水）10：45～12：05  
場 所 8号館伊藤真宏研究室  
参加者 班員5名  
内 容 善氏担当訳の検討（「東大寺十問答」の「六、問、有智の人のよのつねならんと」から「わびてがてらの事也。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年11月6日（水）10：45～11：55  
場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名  
内 容 善氏担当訳の検討（「東大寺十問答」の「七、問、念仏申人はかならず」から「十念にもおよばぬ一念也。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年11月13日（水）10：45～12：00

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 善氏担当訳の検討（「東大寺十問答」の「九、問、本願には十念」から末尾まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年11月27日（水）10：45～11：45

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 安達氏担当訳の検討（「往生大要抄（三）」の冒頭から「みな真実をもちるよといへり。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年12月4日（水）10：45～12：00

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 安達氏担当訳の検討（「往生大要抄（三）」の「この二つの釈をひいて」から「あるべしとこそころえられたれ。」まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和元年12月11日（水）10：45～12：10

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 以下のとおり。

◇安達氏担当訳の検討（「往生大要抄（三）」の「よわき三心具足したらん人は」から末尾まで。 ※齋藤蒙光嘱託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

◇角野作成訳の検討（「禪勝房にしめす御詞」の冒頭から末尾まで。）

令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

日 時 令和元年12月18日（水）10：45～12：05

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 角野担当訳の検討（「ある人のもとへつかはす御消息」の冒頭から「おほきなるさはりにて候へ。」まで。 ※齋藤蒙光囑託研究員作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

## 第一部門 法然文献班 桑門秀我『選擇本願念佛集講義』現代語訳

班長 本庄良文

### 研究組織および専門分野

昨29年度より、班員は、囑託研究員の大谷旭充氏を加えて3名となっている。ただし、主に典拠の調査、訳文のチェックを担当していた大谷氏は、一身上の都合のため、9月11日をもって組織を離れることとなった。

本庄 良文 仏教学部教授（浄土学・仏教学）

上野 忠昭 浄土宗浄願寺副住職（中国仏教・法然浄土教）

大谷 旭充 佛教大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了（法然浄土教）

### 平成31（令和元）年度の研究

以下のように、研究成果を『桑門秀我 選擇本願念佛集講義』前篇（巻上・巻中）（250頁程度）出版準備を進めている。12月中に二校まで済んだ。年度中に発刊予定である。

講義箇所	章名	担当者
序 文	（5丁）	上野
第1章	（捨淨婦淨、40丁）	上野
第2章	（捨雜婦正、32丁）	上野
第3章	（生因本願、27丁）	本庄
第4章	（三輩念仏、17丁）	本庄
第5章	（念仏利益、7丁）	本庄
第6章	（特留念仏、9丁）	本庄
第7章	（光明攝取、9丁）	上野

### 研究会の開催（平成31年1月～令和元年12月）

従来通り、班としての研究会を行わず、メール等で研究成果を相互点検している。対面では、上野氏が佛教大学での全体会に出席することのできる折等に、情報交換を行っている。

## 第一部門 『逆修説法』 班 『逆修説法』 諸本対照本作成、古本『漢語燈録』を中心とする本文批判

班長 眞 柄 和 人

### 研究組織および専門分野

眞柄 和人 知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員（法然仏教伝承過程）  
齋藤 蒙光 東海学園大学人文学部准教授（法然浄土教）  
吉原 寛樹 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻修士課程修了（『逆修説法』研究）  
岩谷 隆法 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（法然文献）

### 平成31年度の研究

善照寺本『古本漢語燈録』巻七・巻八を基礎資料として、他の諸本の本文を参照、比較対照しながら、『逆修説法』の訓読・現代語訳・注記を完成させる作業を行っている。平成28年度の研究会で下訳が完成しており、成果報告にむけて下記の通り見直し修正作業を進めている。

### 研究会の開催（平成31年1月から12月）

#### 第75回研究会報告

日 時 2月12日（火）13：00～14：00  
場 所 15号館 研究室  
参加者 吉原、岩谷  
内 容 『写本集成』P232L4～P237L1の主に読み下し部分の確認作業。

#### 第76回研究会報告

日 時 3月1日（金）13：00～14：30  
場 所 15号館 研究室  
参加者 齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬  
内 容 齋藤蒙光、岩谷隆法担当『写本集成』P237L1～P240L1の見直し修正作業。

#### 第77回研究会報告

日 時 4月22日（月）10：00～12：00  
場 所 15号館 研究室  
参加者 眞柄、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 岩谷隆法担当『写本集成』P240L1～P242L6の見直し修正作業。

第78回研究会報告

日 時 5月17日（金）13：00～15：00

場 所 15号館 研究室

参加者 眞柄、齋藤、岩谷、一ノ瀬

内 容 岩谷隆法担当『写本集成』P242L7～P246L1の見直し修正作業。

第79回研究会報告

日 時 6月7日（金）13：00～14：30

場 所 15号館 研究室

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 岩谷隆法担当『写本集成』P246L2～P248L1の見直し修正作業。

第80回研究会報告

日 時 6月21日（金）13：00～14：30

場 所 15号館 研究室

参加者 眞柄、齋藤、吉原、一ノ瀬

内 容 齋藤蒙光担当『写本集成』P248L1～P249L4の見直し修正作業。

第81回研究会報告

日 時 7月19日（金）13：00～14：30

場 所 15号館 研究室

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 齋藤蒙光担当『写本集成』P249L5～P250L9の見直し修正作業。

第82回研究会報告

日 時 9月6日（金）13：00～15：00

場 所 15号館 研究室

参加者 眞柄、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹担当『写本集成』P250L10～P252L10の見直し修正作業。

第83回研究会報告

日 時 10月28日（月）12：30～14：00



令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

場 所 8号館1階 共同資料室

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹担当『写本集成』P253L1～P254L4の見直し修正作業。

第84回研究会報告

日 時 11月25日（月）12：30～14：00

場 所 15号館2階研究室

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹担当『写本集成』p254L4～p256L2の見直し修正作業。

第85回研究会報告

日 時 12月2日（月）12：30～13：30

場 所 15号館2階研究室

参加者 齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 齋藤蒙光担当『写本集成』p256L3～p258L4の見直し修正作業。

## 第一部門 『選択集』 諸本研究班 信重院蔵 『選択集』 諸本等の調査および研究

班長 兼 岩 和 広

### ・研究組織および専門分野（研究構成員各々の氏名と専門分野）

- 兼岩 和広 浄土宗轉法輪寺住職（法然浄土教・『選択集』）
- 伊藤 眞宏 仏教学部（浄土学・法然浄土教）
- 服部 純啓 佛教大学大学院博士後期課程（珍海の浄土教思想、法然と周縁思想家の研究）
- 小川 法道 佛教大学大学院博士後期課程（浄土教思想）
- 明石 寛成 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・江戸期浄土教）
- 下端 啓介 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・『往生要集』）
- 高城 聡宏 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・西山教学・「當麻曼荼羅」）

### ・2019年度の研究（2019年度の研究概要）

京都信重院所蔵の『選択集』およそ50種100冊について、データ化及び目録の作成を行ってきた。データ化については既に完了しており、さらに採寸等の作業も終了し、今後は各本の詳細な情報を加えた目録を作成していく。

また、次の段階の作業として、諸本を対校しながら『選択集』の研究を行っていく。

### ・研究会の開催等（対象期間：2019年1月～12月）

信重院より『選択集』全本をお借りする都合上、データ化や採寸の作業は轉法輪寺で行った。なお、それらの作業は全て終了しており、現在はそれらのデータや資料を元に研究の段階に入っている。

#### ◎第1回研究会

日時：2019年 6月18日（火）

場所：轉法輪寺

参加者：兼岩、小川、明石、高城、服部

#### 【活動内容】

- ・兼岩より、『選択集』諸本の撮影作業が進行中。
- ・院生による諸本採寸作業（約40冊程度完了）。

◎第2回研究会

日時：2019年6月25日（火）

場所：轉法輪寺

参加者：兼岩、小川、明石、高城、服部

【活動内容】

- ・兼岩より『選択集』諸本の撮影作業が進行中。
- ・院生による諸本採寸作業（第二回研究会をもって採寸を完了した。）
- ・第三回研究会までに大学院浄土学研究室においてデータの入力作業を行った。

◎第3回研究会

日時：2019年7月2日（火）

場所：轉法輪寺

参加者：兼岩、小川、高城、服部

【活動内容】

- ・兼岩より『選択集』諸本の撮影作業が進行中。
- ・粘葉本の確認作業（完了）。
- ・データベース掲載情報の打ち合わせ検討等。

◎第4回研究会

日時：2019年7月9日（火）

場所：轉法輪寺

参加者：伊藤、兼岩、小川、明石、高城、服部

【活動内容】

- ・兼岩より『選択集』諸本の撮影作業（ほぼ完了）及びデータチェック（50冊程度）。
- ・院生による諸本のデータ入力（40冊程度完了）。

◎第5回研究会

日時：10月24日（木）

場所：佛教大学8号館、共同資料室

参加者：兼岩、小川、明石、高城、下端、服部

活動内容：今後の活動に関する打ち合わせ。

## 第二部門 『摧邪輪』 班 明恵 『摧邪輪』 寛永版訓読・現代語訳

班長 米 澤 実江子

### 研究組織および専門分野

- 中御門敬教 佛教大学非常勤講師（インド・チベット浄土教／顕密の浄土教）  
服部 純啓 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程  
（珍海浄土教／法然浄土教と周縁思想家）  
米澤実江子 浄土宗総合研究所嘱託研究員（日本仏教〔中世〕）

### 令和元年度の研究

『摧邪輪』には数本の写刊本が存在し、既に寛永年間版本を底本とした、書き下し（全）・校補注（全）・現代語（巻上）が公にされている。

当班では、平成25年より寛永年間版本巻中からの書き下し・註・訳の確認作業を始め、平成26年9月以降は、研究会を開催せず、米澤が作業を継続している。

### 研究進捗報告

#### 【平成31年1月～】

本庄良文先生のご指示により、「下巻」の作業を中断し、「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。

#### 【令和元年度】

- 4月：「巻中」（～10丁オ2行）。  
6月：「巻中」（～12丁オ9行）。  
7月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第6号掲載原稿作成。  
9月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第6号掲載原稿作成。  
10月：「巻中」（～14丁オ7行）。  
11月：「巻中」（～16丁オ10行）。  
12月：「巻中」（～17丁オ6行）。

## 第二部門 門下班 門下研究目録作成

班長 伊 藤 茂 樹

### 研究組織および専門分野

伊藤 真宏 佛教大学 仏教学部 准教授（浄土学、日本仏教文化史）

伊藤 茂樹 法然仏教学研究センター嘱託研究員（日本仏教史、浄土宗学）

### 2019年の研究

法然門下班は、継続して門流の研究のデータを収集しデータ化している。本年度は、主に個別の研究目録の作成とデータ化に時間をかけ研究会の開催は行っていない。現在は伊藤茂樹が、明遍・静遍等の研究を中心にまとめている。これまでの研究史もあわせ、公開を検討している。

なお本研究は、杉山憲哉氏（法然仏教学センター嘱託研究員）、齋藤善昭氏（佛教大学大学院修士課程修了）、加藤良全氏（佛教大学大学院修士課程修了）に研究協力をお願いしている。

第二部門 『往生要集鈔』 関係班  
『往生要集鈔』 『往生要集義記』 諸本対照・訓読・現代語訳

班長 南 宏 信

**研究組織および専門分野**

本庄 良文 研究員（浄土学・仏教学）

南 宏信 研究員（仏教文献学〔浄土学〕）

**平成31年／令和元年度の研究**

・『往生要集義記』 訓読・現代語訳

適宜作業中である。

・『往生要集鈔』 諸本の翻刻

前年度に続き、引用典籍を確認中である。

**研究会の開催等（平成31年1月～令和元年12月）**

班別研究会は開催していない。

## 第二部門 中国関係班 道綽『安楽集』解説・現代語訳・文献批判

班長 齊藤隆信

### 研究組織および専門分野

齊藤 隆信 研究員（浄土教思想、中国仏教）  
曾和 義宏 研究員（浄土学、中国浄土教理史）  
加藤 弘孝 嘱託研究員（中国仏教、浄土教思想）  
永田 真隆 嘱託研究員（往生伝研究）  
小川 法道 学術研究員（浄土教思想）

### 平成30年度の研究

毎回の研究会では『安楽集』の訳註を作成している。同書の訳註はこれまでも数回報告されているが、今回改めて訳註班を立ちあげたのは、宗典研究にありがちな依義判文や望文生義への反省がこめられている。ただし、これらをすべて否定し排除するのではないが、『安楽集』をいったん漢籍として、その語彙語法に注意を払いながら、一字一句ゆるがせにせず精読することにつとめている。その成果として第二大門の訳註を『法然仏教学研究センター紀要』第5号（2019年3月）に掲載した。

### 研究会の開催等（平成31（令和元）年1月～12月）

#### 【平成30年度】

第14回（通算92回）研究会

日 時：1月15日（火） 13：00-14：20

内 容：是故論曰～無貪為治

第15回（通算93回）研究会

日 時：1月22日（火） 13：00-15：15

内 容：第二大門の見直し

第16回（通算94回）研究会

日 時：2月5日（火） 13：00-15：15

内 容：況今願生～実相相也

第17回（通算95回）研究会

日 時：2月15日（火） 13：00-15：00

内 容：第二段中明此彼～一万劫齊功也

**【平成31（令和元）年度】**

第1回（通算96回）研究会

日 時：4月16日（火） 13：00-14：20

内 容：第八大門中有三番料簡～皆不如此丁寧

第2回（通算97回）研究会

日 時：5月14日（火） 13：00-14：20

内 容：第二弥陀釈迦二仏～是故頂礼平等力

第3回（通算98回）研究会

日 時：5月28日（火） 13：00-14：20

内 容：第三釋往生意～無邊生死海故（第八大門）

第4回（通算99回）研究会

日 時：6月18日（火） 13：00-14：20

内 容：第三釈往生意者～濟運衆生（第八大門）

第5回（通算100回）研究会

日 時：7月2日（火） 13：00-14：20

内 容：二大論復云～豈能不湿也（第八大門）

第6回（通算101回）研究会

日 時：7月16日（火） 13：00-14：20

内 容：二大論復云～是故至心願生彼（第八大門）

第7回（通算102回）研究会

日 時：9月10日（火） 13：00-14：30

内 容：第三大門の見直し(1)

第8回（通算103回）研究会

日 時：10月15日（火） 13：00-14：30

内 容：第三大門の見直し(2)

第9回（通算104回）研究会

日 時：10月21日（月） 10：00-11：30

内 容：第三大門の見直し(3)

第10回（通算105回）研究会

日 時：11月5日（火） 13：00-14：20

内 容：第三大門の見直し(4)

第11回（通算106回）研究会



令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

日 時：12月3日（火） 13：00-14：00

内 容：第九大門中～故更不退転

第12回（通算107回）研究会

日 時：12月17日（火） 13：00-14：30

内 容：又引大経四十八願中～豈不哀哉何得不厭

## 第三部門 伝宗伝戒班 『真葛伝語』 諸本蒐集および教理的根拠の探索

班長 眞 柄 和 人

### 研究組織および専門分野

- 眞柄 和人 知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員（浄土仏教学）  
高津 晴生 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（浄土宗における戒）  
武田 真享 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（日本浄土教）

### 平成31年度の研究

- 浄土宗伝法関係書『真葛伝語』の本文を確定と、訳注。  
研究員の個別の関心に応じて、七祖聖問の思想や菩薩戒の研究も進めている。

### 研究会の開催（平成31年1月～令和元年12月）

- ・現在、研究会は中止中。
- ・出版に向けて各自で翻刻と現代語訳の確認作業。

令和元年5月15日（水）

眞柄：「円頓戒口訣」の翻刻と現代語訳の修正版完成。

令和元年5月17日（金）

高津：「円頓戒口訣」の翻刻と現代語訳の修正版をもとに再検討・修正案を眞柄に提出。

令和元年5月27日（月）

眞柄：『真葛伝語』入稿用原稿を事務局に提出。

令和元年8月3日（土）

大谷旭充（大学院生）：注記の確認添削作業を完了し、データを眞柄に提出。

令和元年9月4日（水）

浄土宗総合学術大会にて『真葛伝語』出版予定を研究発表で公表。

令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

令和元年9月10日（火）

眞柄：事務局より『真葛伝語』初校の受け取り。

令和元年10月25日（金）

眞柄：事務局に『真葛伝語』初校戻し。

令和元年11月13日（水）

眞柄：事務局より『真葛伝語』再校受け取り。

令和元年12月11日（水）

眞柄：事務局に『真葛伝語』再校戻し。

令和元年12月12日（木）

高津：『真葛伝語』翻刻確認完了。眞柄に提出。

第三部門 伝宗伝戒班  
聖問撰『決疑鈔直牒』身延文庫本の研究

班長 南 宏 信

**研究組織および専門分野**

南 宏信 研究員（仏教文献学〔浄土学〕）

**平成31年／令和元年度の研究**

・身延文庫本の翻刻

諸般の事情で遅延しているが、前年度に引き続き翻刻作業を継続中である。

**研究会の開催等（平成31年1月～令和元年12月）**

班別研究会は開催していない。

## 法然仏教学研究センター組織

センター長	本庄 良文			
研究推進機構会議委員	原 清治*	田山 令史	坂井 健	水田 大紀
	荒井真太郎	村瀬 敬子	田中 智子	利木佐起子
	中嶋 力都	森 智女	長谷川順子	
	川越 英子**			
運営会議構成員	本庄 良文*	曾和 義宏	伊藤 真宏	市川 定敬
	南 宏信	田井 陽子		
	長谷川順子**			
職員	田井 陽子			

(\*は委員長、\*\*はオブザーバー)

## 研究組織

### ■「法然仏教の多角的研究」

研究員	本庄 良文	嘱託研究員	永田 真隆
研究員	齊藤 隆信	嘱託研究員	吉原 寛樹
研究員	曾和 義宏	嘱託研究員	高津 晴生
研究員	伊藤 真宏	嘱託研究員	岩谷 隆法
研究員	市川 定敬	嘱託研究員	武田 真享
研究員	南 宏信	嘱託研究員	杉山 憲哉
嘱託研究員	眞柄 和人	嘱託研究員	兼岩 和広
嘱託研究員	上野 忠昭	学術研究員	大谷 旭充（～2019年9月）
嘱託研究員	中御門敬教	学術研究員	服部 純啓
嘱託研究員	伊藤 茂樹	学術研究員	小川 法道
嘱託研究員	米澤実江子	学術研究員	明石 寛成
嘱託研究員	角野 玄樹	学術研究員	一ノ瀬和夫
嘱託研究員	齋藤 蒙光	学術研究員	下端 啓介
嘱託研究員	加藤 弘孝	学術研究員	高城 聡宏

## 活動記録（2019年1月～12月）

令和元年（2019年）

- 1月9日(水) 研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）  
15日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
16日(水) 第14回研究推進機構会議  
18日(金) 第7回法然仏教学研究センター公開研究会  
22日(火) 第9回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
30日(水) 第15回研究推進機構会議
- 2月5日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
12日(火) 研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）  
15日(金) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
27日(水) 第17回研究推進機構会議（第16回は中止）
- 3月1日(金) 研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）  
27日(水) 第19回研究推進機構会議（第18回は中止）
- 4月10日(水) 第1回研究推進機構会議  
16日(火) 第1回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
22日(月) 第1回法然仏教学研究センター研究会（法然仏教の多角的研究）  
研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）  
24日(水) 第2回研究推進機構会議  
研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）
- 5月14日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）  
15日(水) 第3回研究推進機構会議  
17日(金) 研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）  
20日(月) 第2回法然仏教学研究センター研究会（法然仏教の多角的研究）  
研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）  
21日(火) 第2回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会（第三部門 伝宗伝戒班 『真葛伝語』）  
28日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）

- 29日(水) 第4回研究推進機構会議
- 6月3日(月) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 7日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 10日(月) 第3回法然仏教学研究センター研究会(法然仏教の多角的研究)  
研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 18日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 21日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 25日(火) 研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)
- 26日(水) 第5回研究推進機構会議
- 7月1日(月) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 2日(火) 研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)  
研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 6日(土) 法然仏教学研究センター講演会
- 9日(火) 研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)
- 16日(火) 第3回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)  
研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)  
研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 19日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 23日(火) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)  
研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)
- 24日(水) 第7回研究推進機構会議(第6回は中止)
- 9月6日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 9月10日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 17日(火) 第4回法然仏教学研究センター運営会議
- 25日(水) 第8回研究推進機構会議
- 10月7日(月) 第4回法然仏教学研究センター研究会(法然仏教の多角的研究)
- 15日(火) 第5回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 21日(月) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 24日(木) 研究会(第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』)
- 28日(月) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 30日(水) 第10回研究推進機構会議(第9回は中止)  
研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)



令和元年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

- 11月5日(火) 第6回法然仏教学研究センター運営会議  
研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 6日(水) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 11日(月) 第5回法然仏教学研究センター研究会(法然仏教の多角的研究)
- 13日(水) 第11回研究推進機構会議  
研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 25日(月) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 27日(水) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 28日(木) 研究会(第一部門 『選択集』諸本研究班 『選択集』)
- 12月2日(月) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 3日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
- 4日(水) 研究会(第一部門 法然文献班 『和語燈録』)
- 16日(月) 第6回法然仏教学研究センター研究会(法然仏教の多角的研究)  
研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
- 17日(火) 第7回法然仏教学研究センター運営会議
- 18日(水) 第13回研究推進機構会議(第12回は中止)